

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	13	担当部課名称	消防本部消防総務課
事務事業名	消防用財産管理事務		
見直しのタイトル	事務手続きの見直し		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・自家用電気工作物保安業務委託、消防用設備保守点検委託については、現在、消防施設を対象として消防総務課が委託契約を行っているが、他の市施設は施設再編整備課がまとめて実施している。消防施設についても、市で一本化している契約に含めることができれば、経費削減と事務の効率化が図れると考える。
- ・消防庁舎清掃委託については、これまで全消防施設を対象に、長期継続契約を結んでいたが、小和田消防出張所の移転整備に伴い、長期継続契約を解除せざるを得なかった。平成29年度に小和田消防出張所の移転整備が完了したことから、改めて長期継続契約とすることで、経費削減と事務の効率化を図る。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

- ・入札を市一括で契約し、経費削減と事務の効率化を図る。

【具体的内容】

次の工程を踏まえて、次年度から事務改善を図る。

- ・契約期間を長期にできる業務は、長期継続契約で執行し、経費削減及び事務改善を図る。
- ・他課と連携し、重複する内容の業務を協力して一括処理することで事務改善を図る。

3 改善により期待できる効果

- ・事業費の削減と事務の効率化が図られる。

4 実施スケジュール（概要）

- ・ 6月～8月　すでに実施している課かいとの協議
- ・ 9月～10月　次年度予算への反映
- ・ 1月～3月　仕様書等の作成、次年度契約準備

5 実施結果の振り返り

施設管理を包括的に実施している施設再編整備課と協議し、契約を一本化することで、消防施設の自家用電気工作物保安業務委託をはじめとする4事業を市として一括管理することが可能となった。結果、入札手続や契約手続が省略でき、事務の効率化が図らることができた。

また、消防庁舎清掃委託についても、3年間の長期継続契約を結ぶことができたことで、大きな事業費の削減には至らなかったが、入札手続や契約手続を省略することができ、事務改善が実現した。